

平成 30 年 6 月 25 日

東京都知事 小池百合子 殿
東京都教育委員会教育長 中井 敬三 殿

都議会自由民主党
幹事長 秋田 一郎

学校におけるブロック塀等の安全確保に関する要望

2018 年 6 月 18 日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、大阪府高槻市立寿栄小学校のブロック塀が倒壊し、通学途中であった小学校 4 年生の女子児童が塀に挟まれ亡くなられる痛ましい事故が発生しました。

本来最も安全であるべき学校施設の脆弱性により尊い人命が失われたことを、極めて重大なことと受け止めなければなりません。

過去の地震による学校施設における被害として、東日本大震災において天井材等の崩落により生徒が負傷したほか、熊本地震において外壁や窓等が落下する等の事例がある中、現在は校舎や体育館における非構造部材などの耐震化が進められているところです。

しかし、ブロック塀の耐震化の整備は十分に行われておらず、把握もされていない状況でした。

都教育委員会は、6 月 20 日に都立学校及び区市町村教育委員会に対し、学校におけるブロック塀等の安全点検を求めているところですが、二度と同様の事故が起こらないよう、速やかに所要の対策を講じ、都内全ての児童生徒の安全確保に万全を期すべきです。

これらのことを踏まえ、以下の点について強く要望します。

記

- 1 都内公立学校施設におけるブロック塀等の耐震対策の状況及び劣化・損傷の状況に係る安全点検をしっかりと行うとともに、その結果を速やかに公表すること
- 2 安全点検の調査結果を踏まえ、耐震対策の状況及び劣化・損傷の状況によっては、注意喚起や補強を行う等の対策を速やかに行うこと
- 3 区市町村立の小中学校や私立学校についても確実に対策が講じられるよう、国と連携し、必要な情報提供を速やかに行うとともに、財政的支援を行うこと
- 4 ブロック塀等の安全点検や安全対策の状況について、区市町村教育委員会や学校法人とも連携しながら、継続的にフォローアップしていくこと
- 5 ブロック塀等に限らず、耐震化も含めた安全・安心な学校施設の整備について、引き続き、その対策を推進すること